



院長
中澤 堅次

平成二十二年新春を迎えるにあたって

昨年(平成二十一年)は世界的な金融危機に見舞われ、世の中の動向はまた不安定で先の見えない状況が続いています。新型コロナウイルスインフルエンザも日本列島全域に広がってしまいましたが、地域医師会の協力もあつて、救急業務をはじめとする病院事業は滞りなく続けることが出来ています。平成二十一年十二月一日現在までで十数人の新型コロナウイルスインフルエンザの病人さんの入院診療を行ないましたが、冬に向けて重症者の入院が予想される状況です。

医師不足の救急体制への影響はまだ解決したわけではありませんが、先年度から宇都宮市のお骨折りで、新たに地区の救急体制に参加する施設が加わり、救急は病院間の

連携が進んできております。少しでも地域医療に安全が確保されつつあることは喜ばしいと感じています。ご心配をおかけした産科医不足も、新設の院内助産所が軌道に乗りつつあり、助産師さんだけで年間100件のお産は達成できそうなので、その分医師の業務を増やさないですんでいきます。

先年来、病院での診療を終えた方々が、回復期病院や療養型病院へ無理なく移行できることを病院の目標としてきました。まだまだ眼に見える成果は得られておりませんが、ベッドを有効に利用することが出来、受け入れる方の数は順調に増えていきます。今後、後もう少しでも多くの方々に受け入れるべく努

力を続けたいと思います。いろいろ調べて分かったことは、栃木県あるいは宇都宮地区の病床は九州など西日本に比べて極端に少なく、その分病気の回復期にある方に負担が行っているのではないかと懸念しています。医師数の確保がままならない現在、大幅な改善が望めない状況ですが、看護師や検査技師、介護士などの協力を得ながら、転院が無理なく出来るように職員一丸となつてサービスの質を確保したいと考えております。今後、ご期待に沿えるように努力いたしますが、ご協力も同時にお願いたしましたと存じます。

新政権下の医療制度改革には期待をしておりますが、医療介

護に掛かる費用は、国民のほとんどがこれを利用するため額が大きく、十分な社会的サービスが行き届かない状況が続くと考えられます。制度や資金調達の仕組みにおける改革も期待したいと思います。私たちが望むことは公平に適切な医療や介護を多くの方に提供できることですが、今後も現場の実情を見えるように情報を発信する作業は続けたいと思います。

病気を抱えられた方にとつて、今年が良い年であることを祈っております。

病気を抱えられた方にとつて、今年が良い年であることを祈っております。

病気を抱えられた方にとつて、今年が良い年であることを祈っております。

病気を抱えられた方にとつて、今年が良い年であることを祈っております。

病気を抱えられた方にとつて、今年が良い年であることを祈っております。

病気を抱えられた方にとつて、今年が良い年であることを祈っております。

病気を抱えられた方にとつて、今年が良い年であることを祈っております。



ホームページのご案内

当院ではホームページを開設し、さまざまな情報を提供しております。みやのわバックナンバーも公開しております。



www.saimiya.com

診療のご案内

受付時間

8:30~11:00

※診療科により受付時間が異なる場合がございます。

詳細は、初診受付前・ホームページに掲載してあります「診療部各科外来担当医師表」をご覧ください。また、受診科が分からない場合は、1階エントランスホール「総合案内」の看護師にご相談ください。

